

イラストで橋本ぶらり散歩

出身のあべさん、街並みの原画展示

狩尾神社の鳥居と階段のイラスト



9月17日～20日の4日間、京のやわた企画展「橋本ぶらり散歩」が京阪石清水八幡宮駅前の駅前ギャラリーで開催され、橋本出身のイラストレーター・あべみずほさんが描いた橋本の街並みの原画が並びました。



あべみずほさん(右)の原画などが並ぶ会場

同展は、市の魅力を発信しようと観光協会が主催。これまでにも松花堂庭園や流れ橋など、テーマを設定した企画展を開催してきました。あべみずほさんは、クリエイターたちが東日本大震災をきっかけに自身にとって大切なまちを冊子などにまとめ始めた活動に共感し、結婚を機に離れる26歳までを過ごした橋本を描き始めました。

会場には、橋本の街並みや昔ながらの食堂、「子どもころの友だちと遊んだ」という思い出の狩尾神社の階段など、優しいタッチで描かれた原画26点を展示。他にも橋本希望ヶ丘の開発当時の様子や寺社を紹介したパネルなどもあり、来場者たちは興味深そうに展示を見入っていました。

なお、同展は好評につき、10月9日、10日の2日間、追加開催されます。



「敬老の日」を前にした9月16日、橋本幼稚園の5歳児14人が、祖父母にあてたハガキをポストに投函しました。

敬老の日にはハガキ届いて

この行事は、園児から祖父母へ日ごろの感謝の気持ちを届けようと、市内の幼稚園で毎年実施。返事がもらえるよう、往復ハガキを使用しています。この日に向けて園児たちは、ハガキに祖父母の似顔絵、メッセージ添え、

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

新100歳 長寿お祝い

9月20日は「敬老の日」。今年度で100歳を迎えられる市民は10人おられます。堀口市長は9月23日、そのうち在宅で生活されている3人のご自宅を訪問し、長寿をお祝いしました。来年2月に100歳になられる金子初美さんは、市長から賞状と記念品を贈呈されると、笑顔で感謝を述べられました。娘さん夫婦と3人で暮らされている金子さん。利用されているデイサービスで「皆さんと話をしたり、体操やゲームをしたりするこ

とが楽しみ」と話されます。また、3人の孫とひ孫7人に恵まれ、にぎやかに食事をしたり、トランプや百人一首をしたりするなど、家族で過ごす時間を大切にされてきました。「振り返ると、太平洋戦争中は女学生、終戦後は電電公社に勤め、うれしいことも悲しいことも経験しましたが、家族や友人に恵まれ、面白い人生を送ってきました。今は、毎日がゆったりと過ごせてうれしいです」とにこやかに話されていました。



市長から賞状を受け取る金子さん

今月のこの人 高校最後の夏 甲子園で準優勝



たかおか 高岡 そうた 聡太さん

「悔しい思いもありつつ、ここまで長い夏を送れたので、野球をやってきてよかったです」と充実感をにじませる高岡さん。草野球をしていたお父さんの影響で、小学1年生の時に橋本クラブで始めた野球。「きつい練習もあったけど、楽しい方が強かった」と当時を懐かしみます。この夏の甲子園、初戦の倉敷商業戦では9回の守備からセカンドで出場。「守備で入った以上、自

分でアウトを取りたい」と、二度の守備機会をしっかりと声を出しながらアウトにしました。決勝では残念ながら敗れましたが、準優勝という素晴らしい結果で高校最後の夏を終えました。「後輩と同じ八幡市出身の北村と山家がいるので、頑張っ

たい」と優勝の夢を託す高岡さん。「レギュラーとしてチームを引っ張っていける選手になりたい」という次の目標に向かい、今後は大学に進んで野球を続ける予定。さらなる活躍の舞台を目指して、これからも白球を追い続けます。

本コーナーでは、市にゆかりのある人物や団体等を紹介していきます。自薦・他薦問わず、紹介希望者を募集していますので、詳しくは、市ホームページをご覧いただくか、秘書広報課へお問合せください。